

# 道の駅みやま公園で防災訓練を開催しました！

令和6年12月23日



令和6年11月21日に道の駅みやま公園で防災訓練を実施しました。参加者は玉野市役所職員、道の駅を管理されているみどりの館みやま職員・玉野市公園緑化協会、玉野市消防職員、国土交通省職員の計21名が参加しました。



道の駅みやま公園は国道30号沿いにあるよ！



道の駅みやま公園は令和3年6月に「**防災道の駅**」に選定されてから、2回目の防災訓練となります。

## 防災道の駅って何？

「防災道の駅」とは、国土交通省が「全国道の駅連絡会」などと連携し、防災機能を持つ既存の道の駅から、地域にとって広域的な防災拠点、災害時の復旧・復興拠点となり得る駅を選定したものです。選定された道の駅は2022年現在で全国に39ヶ所あり、道の駅みやま公園もその中の1ヶ所です。（岡山県内では1か所だけです）

（道の駅みやま公園ホームページ記載

<https://m-y.jp/disaster-prevention/>）

令和6年能登半島地震の際には、石川県輪島市にある防災道の駅「のと里山空港」が避難場所に使用され、活躍しました！支援物資の集配拠点や災害対応の拠点など、多くの方が防災道の駅を使用する様子が見受けられました！



## ★みやま公園の防災機能紹介



防災倉庫



防災トイレ



非常電源設備



通信機器（衛星携帯電話）



給水施設



ヘリポート

訓練の内容は以下の内容で行われました。

①被災状況・倉庫確認  
他



③災害用トイレ設営



⑤非常用電源の稼働



②消火訓練



④衛星電話発信



## 防災訓練の目的

- ・防災に対する意識を高めることで、災害時に迅速な対応ができる
- ・日頃から訓練を行うことで、避難経路の確認や避難の流れを理解ができる
- ・防災機器の知識が得られる(消火器の使い方や役目など)

### 被災状況・倉庫確認

まずは被災状況の確認をしました。下記は被災状況確認をしている様子です。



配布されたチェックリストに沿って、被災状況の確認を行いました。人的被害の確認や、設備に被害がないかなどが記載されています。また、道の駅深山センターハウス内にある消火器の設置箇所の図が記載されていたり、緊急時の連絡先などが記載されていました。深山センターハウス内には計7ヶ所に消火器が設置してあります。日頃から消火器の設置箇所を把握しておく必要があるなと思いました。

## ○豆知識

消火器には使用期限があるよ！設計使用期限は約10年！  
期限切れの消火器を使うと・・・消火器が破裂して人身事故に  
繋がったりするよ△



次に必要物資の現状確認をしました。下記の写真は確認を行っている様子です。



倉庫の中は物資などが保管されていました。

# 消火訓練

次に消火訓練を行いました。

昨年度の消火訓練では、火のパネルを使って訓練を行いました。今年度は消火体験装置を使って訓練を行いました。私も実際に訓練用消火器を使って、消火活動を体験しました。消火体験装置から離れていても、想像以上に熱く感じてとても危険を感じました。また、初めて消火器を使ったため、使い方があっているか不安でした。



昨年度の訓練の様子



今年度の訓練の様子

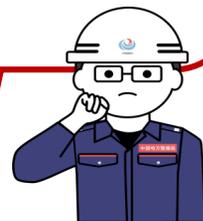
## 消火訓練の様子





## 初期消火の際のポイント

- ・ 火事を見つけたら大きな声で周囲に知らせる
- ・ 消火器は10秒～15秒で全部噴射されるため、近づいてから噴射を開始する
- ・ 火が天井の高さまで迫っているときは、消火器では消せないため直ちに逃げる



## 災害用トイレ設営

次に災害用トイレを設営しました。災害用トイレは倉庫に保管されています。訓練では実際に通常災害トイレと多目的トイレの2種類を設営しました。



通常の災害トイレ



多目的トイレ

道の駅みやま公園には、災害トイレを設置出来る所が計14ヶ所ありました。そのうち2ヶ所は多目的トイレが設営できる場所となっています。



このマンホールみたいな蓋が  
災害用トイレが設置出来る場所です！

鉄蓋の中は…

蓋を開けてみると、汚水を溜める場所になっていて中は真っ暗でした。  
匂いも気にならず、快適に使える感じがしました。



# 災害用トイレ設置手順

①鉄蓋を開ける



②トイレ部分を組み立てる



③鉄蓋にトイレを設置する



④テントの外枠を組み立てる



⑤外枠にブルーシートをかける



⑥飛ばないように重りを付ける



完成!!

多目的トイレは、車椅子の方に利用してもらうため、通常の災害トイレより入口が広く作られています。



## 感想・気づき

- ・初めて設営する人でも簡単に組み立てられた
- ・組立時間は約15分くらいで、組み立てる人数は3~4人が必要だと感じた
- ・ブルーシートを被せる際は男性の力が必要だと感じた
- ・災害トイレを組み立てる際に、協力する場面が見受けられたり会話が交わせることで災害時には不安が和らぐのではないかなと思った

## 衛星電話発信



次に衛星電話を使って、岡山国道事務所に電話をかけました。

災害時一般電話や携帯電話が使用できない場合でも、電話をかけることができるので緊急連絡を取ることが出来ます。

実際に岡山国道事務所に電話をかけている様子です！

もしもし  
繋がっています  
でしょうか？



## 非常用電源の稼働



最後に非常用電源の稼働確認を行いました。

災害時には、停電を感知すると自動で起動する仕組みになっています！

## 非常用電源は何を動かすことができる？

- ・WEBカメラ
- ・天井扇ファン
- ・情報端末装置
- ・休憩室、情報コーナーの照明
- ・外灯
- ・駐車場のカメラ・外灯
- ・男女便器センサー
- ・自動ドア
- ・Wi-Fi
- 他



### 効果

- ・Wi-Fiの利用により情報が入手できる
- ・災害時でも快適にトイレができる
- ・休憩室などのコンセントが使えるためスマホ充電ができる など

1台で**最大約72時間(3日間)**は使用可能です！

## 防災訓練に参加した感想

災害時に備えて資機材の点検や、それらを迅速に設営するための訓練を日頃から行うことが重要だなと思いました！また、防災道の駅の存在を知らない方も多くいると思うので地域の方にも訓練に参加してもらったり、防災機能を知ってもらえるようなイベントを開催するといいな～と思いました！

防災道の駅は災害時に地域にとって重要な施設だと思うので、これからたくさん防災道の駅が増えていくといいなと思いました！



道の駅みやま公園にいた猫です🐱

ぜひみやま公園に遊びに来てね～

